

年度	2025年度
研究科	商学研究科
課程	修士課程
入試方式	外国人留学生試験（A日程）
試験科目	小論文（日本語能力を主に問う）
実施日（試験日）	2024年9月9日

解答又は解答例及び出題意図

(試験問題自体を公開しない場合はその理由)

〈出題意図〉

大学院における研究遂行に必要な基礎的能力として、文献を参照しながら文章を正確に理解し、重要なポイントを的確に要約するとともに、それを踏まえて論理的に自らの見解を論述できる力を確認する。

〈採点時の観点〉

- ・文章を理解して重要なポイントを的確に要約する能力があるか
- ・論理的に自身の見解を論述する能力があるか

なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。

年度	2025年度
研究科	商学研究科
課程	修士課程
入試方式	外国人留学生試験（B日程）
試験科目	小論文（日本語能力を主に問う）
実施日（試験日）	2025年2月1日

解答又は解答例及び出題意図

(試験問題自体を公開しない場合はその理由)

〈出題意図〉

大学院における研究遂行に必要な基礎的能力として、文献を参照しながら文章を正確に理解し、重要なポイントを的確に要約するとともに、それを踏まえて論理的に自らの見解を論述できる力を確認する。

〈採点時の観点〉

- ・文章を理解して重要なポイントを的確に要約する能力があるか
- ・論理的に自身の見解を論述する能力があるか

なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。

年度	2025年度
研究科	商学研究科
課程	修士課程
入試方式	一般選抜試験（C日程）
試験科目	論文 （商学・経営学・会計学・英語の4科目から2科目選択） 〔1科目は志望する専修科目に応じた受験科目を選択〕
実施日（試験日）	2025年3月1日

解答又は解答例及び出題意図

（試験問題自体を公開しない場合はその理由）

〈出題意図〉

本試験は、商学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、受験者が商学・経営学・会計学の三区分の専門分野および英語に関する基礎的知識を有しているかを確認するとともに、それらを活用して論理的かつ多面的に思考し、記述する能力を評価することを目的とする。

設問は各分野の基礎的トピックを中心に構成されており、受験者が商学・経営学・会計学の三区分および英語の中から二分野を選択して論述する形式とすることで、専門知識の修得状況と学問的思考力の双方を評価できるように設計されている。

英語については、大学院において英語文献を参照しながら研究を遂行するために必要となる英語の読解力と、日本語での表現力を測定することを目的としている。

〈採点時の観点〉

三区分に共通する採点時の観点は以下のとおりである。

- ・設問の趣旨を正確に把握し、論点に的確に応答しているか。
- ・商学・経営学・会計学に関する基礎的な概念や用語を正確に理解し、適切に用いているか。
- ・論理構成が一貫しており、主張と根拠の関係が明確で、説得力のある記述となっているか。
- ・英語については、広く研究の対象となる専門分野の英語文献を読解し翻訳できるか。

なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。

年度	2025年度
研究科	商学研究科
課程	博士課程
入試方式	一般選抜試験（B日程）
試験科目	論文（専修志望科目の論文）
実施日（試験日）	2025年2月1日

解答又は解答例及び出題意図

(試験問題自体を公開しない場合はその理由)

〈出題意図〉

本試験は、経営学の専門分野に関する基礎的知識を有しているかを確認するとともに、それらを活用して論理的かつ多面的に思考し、記述する能力を評価することを目的としている。

設問は専門分野のトピックを中心に構成されており、受験者が論述する形式を採用することで、専門知識の修得状況と学問的思考力の双方を評価できるように設計されている。

〈採点時の観点〉

採点時の観点は以下のとおりである。

- ・ 設問の趣旨を正確に把握し、論点に的確に応答しているか。
- ・ 経営学に関する基礎的な概念や用語を正確に理解し、適切に用いているか。
- ・ 論理構成が一貫しており、主張と根拠の関係が明確で、説得力のある記述となっているか。

なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。

年度	2025年度
研究科	商学研究科
課程	博士課程
入試方式	一般選抜試験（B日程）
試験科目	英語
実施日（試験日）	2025年2月1日

解答又は解答例及び出題意図

(試験問題自体を公開しない場合はその理由)

〈出題意図〉

大学院博士課程の学生にとって英語の原著論文を読解することは必須であるため、本試験は、受験者が、専門的知識・英語論文の読解力・情報収集能力を活用して、論理的かつ多面的に思考し記述する能力を評価することを目的としている。

〈採点時の観点〉

採点時の観点は以下のとおりである。

- ・設問の趣旨を正確に把握し、論点に的確に応答しているか。
- ・専門研究に関する基礎的な概念や用語を正確に理解し、適切に用いているか。
- ・論理構成が一貫しており、主張と根拠の関係が明確で、説得力のある記述となっているか。
- ・広く研究の対象となる専門分野の英語文献を読解し翻訳できるか。

なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。